

未来を守る。

これからのサスマタ。

01 開発コンセプト

みんなが無事に避難でき、事件を未然に防ぐ

『トスガード あしどめくん』は、強盗や暴漢が「力の弱い女性も多く働く、教育機関や福祉施設」「壁のない広い校庭や公園」「人が多く、取り押さえが困難な駅やイベント会場」「街中に逃走されやすいお店やオフィス」「電車内のように狭い空間」などに現れたとしても、相手と取っ組み合いにならずに事態を収め、みんなが無事に逃げられるように。また、強盗や暴漢が、それ以上の罪を重ねないように、という想いから開発されました。

『トスガード あしどめくん』なら、サスマタが必要な場面となっても、相手を挟んだら、サスマタを持っていた人は直ぐに避難できます。また、挟まれた相手は、逃走したり暴れたりといった行動を取りにくくなります。もし、逃走しようとしても、柄の部分が悪魔になり、日本の室内空間では動き回るのは困難になります。外に出ても、その姿は不審なので、すぐ捕まりやすくなります。

02 『トスガード あしどめくん』の特徴

他のサスマタとの違い

つかう人は

- 押さえつけるものではなく、「挟んだら避難するためのもの」です。相手を挟んだら、速やかに避難しやすいサスマタです。^{※1}
- 捕まえやすい「ひざ下」部分を挟むことができます。^{※2}
- 軽量のアルミ製なので持ちやすいです。
- 一度使用しても、何度でも使用できます。

挟まれた人は

- 挟まれた人は、一人でロックを外したり、握力でハサミを開くことは困難です。
- 挟まれた人は、サスマタが悪魔で、動くことが困難になります。
- ひざ下を挟まれると、体勢を崩されやすくなります。

03 一般的なサスマタの課題

U字状のサスマタは危険!?

先端がU字状の一般的なサスマタは、槍道経験者でも、実際に活用するには難しいものだと思います。なぜなら、相手が抵抗をやめるまで、交戦しなければならないため、非常に危険が伴うのです。

学校の校庭など、壁のないところでは、地面に押さえつけなければなりません。取り押さえるにも、大人の男性2~3人でも困難です。相手がサスマタからすり抜け、逃走してしまう、ということも考えられます。



04 『トスガード あしどめくん』のつかい方

もしも、必要な場面がやってきたら

1



可能な限り、速やかに、警察等へ通報してください。

2



柄をしっかりと握り、牽制しながら「ひざ下」を狙います。^{※2}

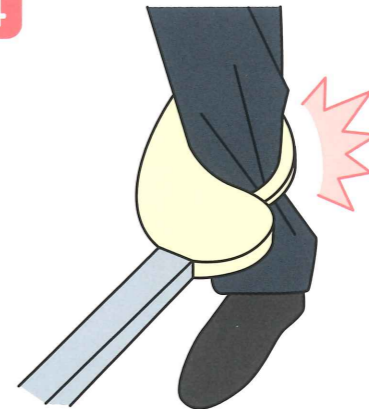


3



相手の体に対して、できるだけ直角に突き出します。

4



ワイヤーが当たると、自動的にアームが閉じます。

5



サスマタを離し、安全なところに避難します。



一人ではサスマタを外せません。ドアや障害物が悪魔になり、逃走が困難になります。

足首の辺りを挟むと、軽く引くだけで、体のバランスを崩しやすくなります。

強盗や暴漢がそれ以上、罪を重ねず、みんなが無事に避難する為に。

⚠️ ※1. このサスマタによって、避難できることを保証するものではありません。
 ※2. 顔や首を狙って挟まないようにご注意ください。過失で相手に怪我を負わせてしまう場合があります。